

コード	503010204
記入日	H27.11.6

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 27 年度
------	----------

課コード	122
課名	文化財課
課長名	湯川 直基
担当者	湯川 直基

評価対象事業名称	文化財調査保存事業	事業種類	継続事業
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度		

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	にぎわいを創る「交流のしま」	款コード	10
施策コード	503	施策名称	歴史、伝統文化を守り、活かし、伝えるまちづくり	項コード	5
基本事業コード	50301	基本事業名称	歴史・文化の保存伝承	目コード	4
事務事業コード	5030102	事務事業名称	文化財保護事業	細目コード	1398
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 指定文化財	(対象指標1) 75件			
(対象2) 町内文化遺産（指定以外）	(対象指標2) 不特定			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・指定文化財を始め文化遺産の保護・維持修復のため、調査及び保存計画書の作成等を行う。 →公益財団法人住友財団文化財維持・修復事業助成事業 H28：奈良尾アコウ安全性調査、鉄川與助図面等保存・修理（町所有） H29：神社・仏閣調査、鉄川與助図面等保存・修理（遺族所有） H30：鉄川與助図面等保存・修理（遺族所有）、町内文化遺産保存計画報告書	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
① 研究調査及び報告書作成	3件			平成30年度
	3件			平成30年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・町内には、国・県・町指定の文化財のほかにも貴重な町民の財産として調査・保存していくかなければならない文化遺産が数多く残されている。「歴史、伝統文化を守り、活かし、伝えるまちづくり」を目指して、町内文化遺産（文化財）の調査、保存の充実と町民の保護意識の高揚を図るとともに、島の魅力を増やし、情報発信を行い交流人口の拡大を図る。	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
① 文化遺産（文化財）の保護・記録	-	-	-	平成30年度

実施 (DO)

	単位	全体計画		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度以降
		H 28 ~ H 30								
活動指標	① 件	3		1	1	1				
	② 件	3		1	1	1				
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	11,100		3,700	3,700	3,700				
直接事業費 A	千円	9,000		3,000	3,000	3,000				
人件費 B	千円	2,100		700	700	700				
内訳 従事職員数	人	0.3		0.1	0.1	0.1				
人件費単価	千円	7,000		7,000	7,000	7,000		7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起 債	千円								
内訳	そ の 他	千円	1,360	1,360						
	一般財源	千円	9,740	2,340	3,700	3,700				

評価 (CHECK)

評価項目		内容
1次評価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	指定文化財、文化遺産は、我が町の歴史や文化理解に欠くことのできない町民共有の財産であり文化財の種別や特性に応じた保存・管理が求められている。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	文化財を適正に保存、管理を維持するものであり適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	文化財保護については条例に定められており必要である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	文化財の適正な保存、管理、活用が難しくなり地域文化の継承、町づくりとしての文化財の活用が困難になる。
	・事業費を削減できませんか。 (費用対効果)	事業実施段階で再度事業の見直しを行い、事業費の圧縮、削減に努める。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	町内に残る貴重な文化財の調査を行い、文化財の本来の価値についての位置付けを明確にしていくためには必要な事業と判断するが、文化財所有者及び文化財保護審議会との調整など調査に向けた検討を行ったうえで実施すること。また、世界遺産構成資産候補の教会堂をはじめ、数多くの教会堂建築に関わり、大きな功績を残した鉄川與助氏の建築資料等は、本町の貴重な財産であり、文化遺産として後世に継承していく必要があるため、確実な保存計画を検討し実施していくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次	計画どおりに事業を実施する	1次	2次	3次	次年度以降に計画どおり実施する
	●			事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
		●		実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。